

平成 19 年 12 月 10 日

横浜市長 中田 宏様

若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会
委員長 山岸 弘樹

若葉台地区小中学校跡地活用について

はじめに

若葉台地区小中学校 5 校（旧横浜市立若葉台東小学校・同北小学校・同西小学校・同東中学校・同西中学校）の再編により生じた小中学校の跡地活用については、「若葉台地区小・中学校再編検討委員会」が、平成 18 年 2 月 20 日に横浜市教育委員会へ提出した意見書の中で、「統合により生じる土地・建物の活用については、地域で『跡地活用検討委員会』を設け検討したい」としたことを受け、若葉台連合自治会、単位自治会を中心とした各団体代表で構成する「若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会」を設置し、平成 18 年 11 月から検討を行ってきました。

ひとつの地区で 3 校もの学校跡地の活用について一度に検討するという事例は、横浜市内で初めての試みであり、検討委員会の活動も試行錯誤の連続で厳しいものでした。

そうした中で、真摯にまた粘り強く調整と検討を重ね、このたび跡地活用についての意見を取りまとめましたので、次により申し述べます。

これまでの経過

若葉台地区は、理想的なニュータウンの建設を目指して昭和 40 年代後半から横浜市北西部の丘陵地を開発した大規模団地ですが、小・中学校では、数年前から児童・生徒の減少による小規模化が進み、これに伴い多くの課題を抱えるようになりました。

このため、平成 17 年 5 月に「若葉台地区小・中学校再編検討委員会」を設置し、地区内の小・中学校 5 校の再編について 8 回にわたり検討を重ね、小学校については 3 校を 1 校に、また中学校については 2 校を 1 校に統合することとなりました。

これらの統合により生じた旧若葉台東小学校、旧若葉台西小学校、旧若葉台西中学校 3 校の跡地を有効に活用するため、平成 18 年 11 月、若葉台地区連合自治会、単位自治会を中心とした各団体の代表から構成される「若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会」（以下「検討委員会」とする）を設置し、将来の若葉台のまちづくり構想を踏まえながら、11 回にわたって検討を続けてまいりました。

検討委員会では、跡地活用に関する住民アンケートを実施し、広く地域住民からの意見を募るとともに、検討委員会での議論をより深めるため、「暫定利用」「スポーツ」「教育文化」「福祉」「安全・安心」「行政提案検討」の 6 分野からなる小委員会を設置し、延べ 25 回にわたって活発な議論を重ね、分野ごとに住民要望の取りまとめを行いました。

併せて横浜市からも跡地活用について提案がなされましたが、それらが若葉台地区および旭区全体にふさわしいものかどうか、検討を重ねてきました。

これらの結果、跡地活用についての3校活用コンセプト（考え方）およびコア（中心）施設、各施設に必要と考える機能を整理した上で、10月から11月末までの間に各自治会単位および若葉台全域を対象とした延べ9回にわたる住民説明会を開催し、最終的な意見書として取りまとめを行いました。

1. 3校の跡地活用のコンセプト（考え方）とコア（中心）施設

3校の跡地活用については、学校跡地となった空きスペースに、単に施設を配置するのではなく、次の表のとおり、若葉台地区のまちづくりを進める上で必要なコンセプト（考え方）をもとに、それにふさわしい施設をコア（中心）施設としていただきたい。

	コンセプト	コアとなる施設	付帯施設
旧若葉台東小学校	「教育・福祉」「安全・安心」	○校舎・体育館・グラウンド 横浜市立特別支援学校	○校舎 ・コミュニティハウス ・市民図書室 ・地域防犯防災活動拠点 ・福祉ボランティア拠点 ○体育館・グラウンド ・地域防災拠点・学校開放
旧若葉台西小学校	「教育・文化」「子ども」「高齢者」 の分野における地域課題を踏まえ、地域に貢献する事業を展開し、今後の若葉台地区の魅力を高めることができる事業者及び事業提案を公募	○公募事業で決定 〈例〉 民間病院・私立学校	(例) ・学習情報館 ・音楽ホール（多目的ホール） ・多目的利用研修室 ・子ども支援センター（児童館）、集いの場 ・高齢者向け福祉保健サービス施設（憩いの場、喫茶室、交流の場等） ・ホタルの舞う里（天使の湖）エリアの存続
旧若葉台西中学校	「スポーツ・文化」	○校舎 文化・芸術の分野における市民活動の拠点 【暫定利用】 横浜開港150周年記念イベント関連事業での利用 ○体育館・グラウンド・格技場 総合型地域スポーツクラブ (若葉台スポーツ・文化クラブ)	・地域防災拠点 (・民具等保管展示)

2. 各施設に必要な機能

前述のコンセプト（考え方）とコア（中心）施設を踏まえ、地域として各施設に必要と考える機能や留意すべき点は次のとおりであり、横浜市においても、十分な配慮をお願いしたい。

【旧若葉台東小学校】

- ・横浜市立特別支援学校をコア施設とし、地域の教育・福祉の活動拠点として位置づける。
- ・既存のコミュニティハウスを存続させる。加えて「地域活動施設」として、地域が自主的に活動する場を確保する。
- ・地域防災拠点を存続させるとともに、体育館・グラウンドについて、学校開放として地域利用に供する。

【旧若葉台西小学校】

- ・公募事業については、地域が必要とするサービス需要や課題を十分踏まえた提案を行うことを条件として実施する。

【旧若葉台西中学校】

- ・総合型地域スポーツクラブ（若葉台スポーツ・文化クラブ）を開設するとともに、文化・芸術の分野における市民活動の拠点として位置づける。
- ・地域防災拠点を旧若葉台西小学校から移転する。
- ・横浜開港150周年記念イベントに関連した暫定利用については、地域の意見を踏まえ、利用ルールを定める。

おわりに

若葉台地区としては、今回的小・中学校統合により生じた跡地を有効に活用し、地域および地域住民・市民にとって必要な機能を整備することで、魅力と活力にあふれたまちづくりを推進し、横浜市の発展に貢献してまいりたいと考えています。

今後、具体的、詳細な検討を進めるにあたっては、地域としても「（仮称）跡地活用調整委員会」を設け、横浜市と協働し、十分な協力をていきたいと考えております。

横浜市においても、各事業を速やかに進展されるよう要望いたします。

〈参考〉

- ・若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会委員名簿
- ・若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会の検討経過
- ・住民アンケートまとめ

若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会 委員名簿

(注)役職は検討委員会設置時(平成18年11月)の役職となります。

所 属	氏 名	役 職
連合自治会	◎山岸 弘樹	会 長
	長沼 伸行	事務局長
	小原 淳治	広報理事
単位自治会	第一	皆川 猛文
	東	清水 正勝
	二丁目南	泉妻 輝夫
	北	武笠 信義
	中央	斎藤 克郎
	どちのき	細川 麗子
	ゆりのき	大野 清志
	西	太田 博人
	あかね	川畠 裕行
	もみじ	小川 政夫
青少年指導員協議会	内山 善彦	会 長
体育指導委員協議会	○南 宏市朗	会 長
地区社会福祉協議会	○白岩 正明	会 長
スポーツ・文化村	正藤 澄雄	文化総務
若葉台まつりの会	堀 進	会 長
旭区老人会連合会若葉台第二支部	片岡 正	支部長
若葉台管理センター	中川 昭人	事務局長
P.T.A	東 小	祖父江 祐子
	北 小	沼田 みどり
	西 小	後藤 雅代
	東 中	横山 栄子
	西 中	古賀 司
学校開放委員会	東 小	清水 正勝
	北 小	村井 守
	西 小	三沢 聖子
	東 中	南 宏市朗
	西 中	太田 博人
オブザーバー	井上 政夫	学校代表
	黒羽 トミ子	東小コミュニティハウス
学識経験者	大門 洋文	

◎ 委員長 ○副委員長

(参考 検討委員会に参加した横浜市関連部署)

行政運営調整局 財産調整課
教育委員会事務局 学校計画課
教育委員会事務局 文化財課
教育委員会事務局 特別支援教育課
開港150周年・創造都市事業本部 150周年記念事業推進課
財団法人 横浜開港150周年協会
旭区役所 区政推進課

【若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会の検討経過】

	日 時	検討内容
第1回	平成 18 年 11 月 12 日 (日)	◇検討委員会開催までの経緯 ◇検討委員会会則の確認 ◇跡地活用の考え方について ◇今後の進め方について
第2回	平成 18 年 12 月 16 日 (土)	◇暫定利用について ・他区の事例等 ◇本格利用について ・小委員会の設置・各団体意見集約
第3回	平成 19 年 1 月 27 日 (土)	◇暫定利用について ・地区要望の検討等 ◇本格利用について ・アンケート結果中間報告 ◇行政提案 ・埋蔵文化財センターの集約移転について
第4回	平成 19 年 2 月 25 日 (日)	◇暫定利用について ・提案と横浜市からの回答 ◇各小委員会からの検討状況報告 ◇行政提案 ・総合型地域スポーツクラブについて
第5回	平成 19 年 3 月 24 日 (日)	◇暫定利用の基本的方向について ◇各小委員会からの検討状況報告 ◇都市計画変更手続について
第6回	平成 19 年 4 月 22 日 (日)	◇暫定利用について ・現状と課題 ◇各小委員会からの検討状況報告
第7回	平成 19 年 5 月 26 日 (土)	◇行政提案 ・新治特別支援学校の移転について ◇各小委員会からの検討状況報告
第8回	平成 19 年 6 月 29 日 (金)	◇新治特別支援学校の移転について ◇今後の検討委員会の進め方について
第9回	平成 19 年 8 月 31 日 (金)	◇特別支援学校整備イメージについて ◇3校の配置イメージについて ◇小委員会の検討状況について
第10回	平成 19 年 9 月 29 日 (土)	◇特別支援学校整備イメージについて ◇住民説明会資料について
第11回	平成 19 年 11 月 30 日 (金)	◇住民説明会の開催状況報告 ◇意見書について

平成 18 年 12 月実施

住民提案アンケートにより地域住民から寄せられた施設要望等

(若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会ニュース 第4号より 引用)

《スポーツ関係》

- 新設を望まれている施設
 - ・格技場、温水プール、スポーツジム、総合スポーツ施設
- 現施設を改造して設置を望まれている施設
 - ・ソフトボール専用球場、パーゴルフ場、地域スポーツセンター、運動場の拡充、運動機能保持施設、芝生グラウンド、高齢者グループ活動場所
- 現施設そのままの利用が望まれている施設
 - ・グランドゴルフ場、サッカーグラウンド、卓球台常設場、雨天時体操場、高齢者健康増進器具設置、VOS C事務所、少年野球場、活動後の懇親場所、手軽にスポーツを楽しめる場所、スポーツ関連団体への貸出、運動サークル活動場所

《教育・文化関係》

- 郷土館 ○ログハウス ○図書館・図書室 ○多目的ホール
- 菜園・農園 ○駐車場 ○コミュニティハウス ○リサイクル ○教育機関
- 学習塾 ○テレビ局 ○公園・広場 ○文化施設
- 音楽ホール ○スタジオ・ギャラリー・練習場

《福祉関係》

- 子ども関係
 - ・保育施設、子育て支援の拠点、子どもの活動の場、児童館、学童保育、集いの場
- 障害児者関係
 - ・障害児学校、地域作業所等、グループホーム、障害児者支援の拠点
- 高齢者関係
 - ・高齢者活動の場、高齢者施設
- 住民交流
 - ・食事の場、集いの場
- ボランティア関係
 - ・ボランティア活動の拠点、発表の場
- 宿泊施設関係
 - ・宿泊施設

《安全安心まちづくり》

- 防災拠点
 - ・現防災拠点、医療救護拠点の維持、存続
 - ・資機材保管場所を 1 階に移動
 - ・拠点の利用区域の見直し
 - ・備蓄資機材の見直し
 - ・給食設備の存続、活用
 - ・拠点間の連絡事務所の常設
 - ・災害時の救護拠点
 - ・救護物質の保管場所として活用
- 災害ボランティア拠点
 - ・災害ボランティア拠点として活用
- 防犯拠点
 - ・若葉台全域の防犯の拠点として常設の事務所の設置